

生産性向上支援訓練カリキュラム

B. 組織マネジメント	主体的に考え、行動できるビジネス感覚を高めよう！
組織力強化	現場社員のための組織行動力向上

コースのねらい	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
---------	--

対象	(初任・中堅層向け) ・社員として求められる役割を学びたい方 ・フォロワーとしての能力を高めたい方
----	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 企業組織と生産活動	(1) 企業経営の仕組み 企業の使命や「組織の3要素」を学び、協働の本質を深く理解します。組織形態に合わせた主体的な行動を促し、単なる「作業員」から「組織を動かす一員」への意識変革を実現します。  (2) 生産活動の目的と目標 顧客満足と利潤確保という企業の真の目的を再確認し、職場を自ら高める「改善」の定義を学びます。PDCAサイクルを回し、あらゆる業務で生産性向上に挑むプロとしての姿勢を養います。  (3) 経営者の視点とコスト感覚 経営視点での「全体最適」を理解し、現場の改善が収益に直結する仕組みを学びます。社員一人ひとりが「コスト感覚」を持ち、事業計画を自分事として捉え、現場から経営を支える意識を醸成します。	1.5
	2 状況変化に対応する現場力	(1) 現場力を高めるための要素 強い現場を築く「7つの条件」を学び、組織としての現場力を底上げします。KPIや「見える化」を通じて課題を自ら発見し、部門を超えて連携・解決できる自律的な組織能力を強化します。  (2) 現場の問題発見と継続的改善 「あるべき姿」と現状のギャップを捉え、業務に潜む「7つのムダ」を見極める眼を養います。5W2Hを用いた具体的な改善計画の策定と、PDCAを回し成果を標準化する実践力を磨き上げます。  (3) 現場力の継承と人材育成 技術継承と改善を尊ぶ組織風土づくりの要となる役割を学びます。後輩への適切な助言や目標共有を通じ、個人の成長を部門全体の活性化へと繋げる「中堅社員としての視点」を養います。  演習 現場での日常業務を「付加価値」「非付加価値」「ムダ」に分類する眼を養い改善の糸口を見つける演習を行います。	2.0
	3 フォロワーシップと組織行動力	(1) フォロワーシップとは 組織成果を左右する「フォロワーシップ」の重要性を学びます。自己診断を通じて、上司を支え自律的に行動できる「模範型フォロワー」への意識変革を促し、組織の機動力を高めます。  (2) 組織行動力に直結するフォロワーとしての役割 自律的な実務遂行(貢献力)と建設的な進言(提言力)の重要性を習得します。現場の情報を正確に上げ、改善を提言することでチームの一体感を高め、組織全体の行動力を最大化させる術を学びます。  演習 自身のフォロワータイプ(ロバート・ケリーの5タイプ)を客観視し、組織行動力を高めるための「提言力」を実践的に学ぶ	2.5
演習	ポイントごとにグループで演習問題を行い、知識を演習を通じた理解に変えていただきます。 演習1: 業務からムダを見つけ出しグループ討議の中で改善案を見つけ出し「目で見る管理」の視点を入れて発表をしていただきます。 演習2: 個人のフォロワータイプを理解し「模範型フォロワー」として上司への納得感の高い提言ができるか発表いただきます。		上記訓練時間に含む
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント	本カリキュラムは、現場の要となる若手・中堅社員の立場に寄り添い設計いたしました。単なる理論学習ではなく、自部署の課題を「自分事」として捉える実践演習を軸としています。経営者視点でのムダ取りや、リーダーを支えるフォロワーシップの本質を学ぶことで、受講者が明日から自信を持って組織行動力を発揮できるよう、実効性を追求した内容です。
---------------	---

備考	
----	--